

科目名	臨床検査総論 (Laboratory Medicine)			科目コード	414
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	臨③⑤
担当教員	徳原 康哲				
授業概要	臨床検査技師としての実務経験を有する教員が、採血や鼻腔・咽頭からの検体採取の方法と注意事項、法的根拠について教授する。さらに、各種検体（尿、糞便、喀痰、脳脊髄液など）を用いた各検査法の検出原理と検査成績の臨床的意義、検査成績に影響をおよぼす要因等について講義を行う。				
授業目標	臨床検査技師の使命を正しく認識した上で、各種一般検査法と検査成績の臨床的意義を正確に説明できることを到達目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1	臨床検査技師の役割と使命	臨床検査の重要性、臨床検査技師教育の変遷、臨床検査技師としての業務拡大
2	臨床検査技師と採血	法的根拠、採血法、採血に関する注意事項
3	検体の取り扱い	尿・便・喀痰・血液・胆汁・髄液・気管支肺胞洗浄液などの取り扱い
4	鼻腔・咽頭からの検体採取	法的根拠、検体採取法、採取に関する注意事項
5	尿検査 (1)	ネフロン構造と機能、尿の組成と性状、尿比重、尿浸透圧、尿pH
6	尿検査 (2)	尿定性試験紙の取り扱い、尿蛋白定性・定量、特殊蛋白
7	尿検査 (3)	尿糖定性 (還元法)、尿糖定性法 (酸化酵素法)、尿糖定量法、アセトン体、ビリルビン
8	尿検査 (4)	ウロビリニン体、ポルフィリン体、フェニルケトン体、アルカプトン
9	尿検査 (5)	血尿・ヘモグロビン尿・ミオグロビン尿、5-HIAA、VMA、メラノゲン、脂肪
10	尿検査 (6)	妊娠反応、アスコルビン酸、腎機能検査、細菌尿、尿中白血球
11	尿沈渣 (1)	標本作製方法、各種染色、記載方法
12	尿沈渣 (2)	各種血球・上皮細胞・円柱・結晶の形態と意義
13	糞便	糞便の基礎知識、一般的性状、各種検査法
14	脳脊髄液	脳脊髄液の基礎知識、一般的性状、各種検査法
15	その他の体液	喀痰・胃液・精液等
成績評価方法		筆記試験 (70%) と小テスト (30%) により評価する。
教科書		三村邦裕・宿谷賢一「最新 臨床検査学講座 一般検査学」(医歯薬出版)
参考図書等		日本臨床衛生検査技師会 尿沈渣検査法編集委員会「尿沈渣検査法 2010」(日本臨床衛生検査技師会)、三村邦裕・鈴木敏恵・宿谷賢一「臨床検査学講座 臨床検査総論」(医歯薬出版)
授業時間外の学習について		授業内容について小テストを実施するため、復習を必要とする。
関連科目		415 臨床検査総論実習
備考		<input type="checkbox"/> 徳原：臨床検査技師 (医療機関) 6 回目の授業から毎回小テストを実施する。

(24 カリ) 臨床検査学科